



議会活動フォト

- ① 下村博文 文部科学大臣とともに（金沢にて）
父親を小さい時に交通事故で亡くされ、大変苦労して大臣にまでなられた方です。
- ② 金沢市立工業高校相撲部
卯辰山の金沢大会に続いてインターハイでも優勝しました。
- ③ 小中一貫校を視察
青森県の三戸学園にて小中一貫教育の授業や校舎を見学させていただきました。
- ④ 意見交換会を開催
市民の方々と議会との初めての意見交換。議会改革の一環であり、年間に数回開催される予定です。



《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月 野町に生まれる	平成 9 年 4 月 今村証券株式会社入社
52 年 3 月 藤蔭幼稚園卒	23 年 1 月 // 退社
58 年 3 月 森山町小学校卒 (金沢東警察署で少年剣道)	23 年 4 月 金沢市議会議員選挙に初当選
61 年 3 月 星稜中学校卒 (剣道部主将)	野町校下青年会・野町弥生消防分団所属 金沢市泉本町に在住
平成 元 年 3 月 金沢泉丘高校卒 (剣道部主将)	資格 : 証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー 宅地建物取引主任者
9 年 3 月 早稲田大学卒	家族 : 妻、長男(米泉ドジャース→石川中央ボーイズ)、 次男(小学生)

喜多浩一通信



新人市議会議員としての任期も残りわずか

私が皆様から市議会議員の議席をいただいた平成23年4月24日の市議会議員選挙から約3年半が経ちました。残りの任期もわずかになり、皆様に4年間の総括をご報告する時期になりました。今後、市政報告会などを順次開催し、皆様に私の4年間の活動をご報告していく予定であります。

この3年半の議員生活は、私が経験してきた約14年間のサラリーマン生活を根底から一変させ、家族も含めて毎日が戸惑いと試行錯誤の連続でした。議員とはどうあるべきか。今後の世の中の方向性はどうか。市民の方々の暮らしはしたらよくなるのか。考えればきりが無い永遠の課題を、走りながら考え続けた3年半でした。さらに言えば、私の人生において経験した事が無いかけがえのない期間であったと言えます。

市民の方々から見れば、まだまだもの足りない点も多く、喜多浩一もっと頑張れとの声を常日頃からお聞きするたびに、自分の力のなさ、努力不足を痛感させられました。残りの任期に少しでも多くの諸課題を克服していき、市民の皆様に喜多浩一を金沢市議会議員にしてよかったと少しでも思ってもらえるよう、奮励努力していく所存です。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。 (喜多浩一)

平成26年定例第1回市議会での主な一般質問と答弁の要約

◎旧小学校校舎などの活用について

〈喜多浩一〉

統合などによる旧校舎の活用は、これからいくつかの地区で想定されてくると思われます。施設管理者としての本市は、今後、このような学校施設の跡地利用に対してどのような基本方針で臨まれるのか、市長のお考えをお聞きいたします。

〈山野市長〉

重点戦略計画の中で、まちなかの旧小学校を活用した生涯学習施設を再編し、地域の青少年や高齢者などを核とした市民の交流拠点として、再整備することを検討していくこととしています。今後、まずは具体的に、その学校の地域の方々のご意見、ご意向をお聞きしながら、耐震化の状況や他の公共施設との配置状況などを考慮した上で、将来にわたって有効に使ってもらえるような施設にしていきたいと考えています。

◎子ども・子育て支援新制度への対応について

〈喜多浩一〉

新制度が実施され、それが定着するかどうかは、私立幼稚園が円滑にこの新制度に移行できるか否かにかかっており、市町村が実施主体となってきた保育に加え、幼児教育についても担当することとなりますが、幼児教育の重要性についてどのようにお考えかお聞きいたします。さらに、担当部署には幼児教育に理解がある人材の配置が必要かと考えますが、担当部署の今後の取組みなどもお答え願います。

〈山野市長〉

これまでは私立学校振興助成法に基づき、幼稚園のことは一義的に県が対応してきました。ただ、本市も子どもたち全般に対するさまざまな施策を行ってきたところであり、今年度から幼稚園に関する事務を金沢市が受けまして、こども福祉課に移管いたしました。保育所とともに、一元的に支援することにしたところでもあります。新制度の実施に伴いまして、幼児教育に関する研修や支援を行うこととなりますので、今後、必要な体制について検討していきますし、幼稚園関係者とも連携を密にとっていきたいというふうに考えています。

◎農業の6次産業化について

〈喜多浩一〉

今後、企業参入による農業の6次産業化はT P Pや農協改革などの問題のいかんを問わず、さらに進展していくものと考えられます。本市として、今補正予算に6次産業化ネットワーク活動支援事業費が新しく計上されていますが、地域農業を活性化するための戦略に今まで以上に企業との連携を組み込んでいくべきと考えますが、この点についてお聞きいたします。

〈山野市長〉

農業者が企業と連携し、商品開発や販路の開拓を行っていくということは、農産物に付加価値をつけることとなりますし、出荷量の増大に大きく寄与していくことにもなります。農業の6次産業化は積極的に促していきたいと考えています。

ふるさと教育の展望は

喜多浩一氏(自民)「ふるさと教育」の展望を尋ねる。野口教育長 新たな教育振興基本計画で「金沢に誇りを持ち、ふるさとを愛する子」を、目指すべき子ども像として掲げる。金沢の歴史や伝統、文化、自然の体験学習を充実させていきたい。

喜多氏 子ども・子育て支援新制度の対応は進んでいるか。山野市長 今年度、幼稚園に関する事務を市教委から、保育所を担うことも福祉課に移管し、一元化した。幼児教育の研修や支援を行う態勢を整える。

喜多氏 農業活性化の戦略に、農家と企業の連携を組み込むべきだ。6次産業化を推進せよ。山野市長 商品開発や販路開拓で連携し、地元の農産物の付加価値を高めたい。

北國新聞 2014年6月20日付朝刊

日台交流の思い語る

泉台湾華僑総会 一青妙さん講演

泉台湾華僑総会の台日交流講演・座談会(北國新聞社後援)は31日、金沢市の県教育会館で開かれた。歯科医で女優の一青妙さんが約150人を前に「私の台湾アイデンティティ」の題し、日台交流促進への思いを語った。

一青さんは台湾出身の父と石川ゆかりの母を持つ。5年前の自宅建て替えの際、幼少時に中国語で書いた作文や両親が交わした手紙など、家族の思い出が詰まった箱が見つかり、「30意見交換する座談会のパネリスト」金沢市の県教育会館

代にして自分の中にある台湾を見つめ直すようになった」と振り返った。最近自身も育った台北だけでなく、70〜80年代の趣を残す台南を足しげく訪れており、7月には台南に関する著書出版すると紹介した。

座談会では酒井亨金沢学院大准教授が司会を務め、一青さんと西本陽(金大教授、「八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会」の喜多浩一世話人・事務局次長らが日台交流の深化に向けて意見交換した。

北國新聞 2014年6月1日付朝刊

喜多浩一関連記事

北國新聞や建設工業新聞などに取り上げられた記事の一部を掲載しました。

北國新聞 2014年6月20日付朝刊

泉小・泉中周辺で公共空間を確保

喜多氏は泉小・泉中の新校舎建設に併せ、敷地周辺の幅が狭い道路を再整備し、児童生徒の安全を確保するよう求めた。山野市長は「安全に歩行できる公的な空間が確保できないか、新校舎の実施設計の中で検討する」と述べた。

旧野町、弥生両小が統合して今年度開校した泉小の児童は現在、仮校舎である旧野町小に通学している。山野市長は泉小新校舎が完成した後の旧野町小について「市民の交流拠点となるよう、地元と十分に協議して決めたい」と話した。

泉小・泉中建設で周辺整備も

旧野町小は市民交流の場に

金沢市議会一般質問

金沢市議会6月定例会(の)旧弥生小、泉中周辺の道路の再整備も開し、喜多浩一氏(自民)が一般質問に立った。

喜多氏が泉小、泉中校舎の一体的な整備に合わせ、(新校舎建設地)の質問に対し、山野市長は「道幅が狭いことは理解しているが、地域の方から石垣や桜並木を残してほしいとの声も寄せられている。児童、生徒の安全が一番であり、道路のみならず、学校敷地内を含めて公共的な空間が確保できよう、今後予定される新校舎建設に向けた実施設計の中で検討していく」と述べた。

一方、現在泉小の校舎として使用している旧野町小学校の跡地活用について、山野市長は「建物の耐震化が済んでおり、(新校舎の完成後は)交流拠点都市にふさわしい市民交流の場となるよう、地域の方々と十分に相談していく」との考えを示した。

建設工業新聞 2014年6月20日付朝刊

北國新聞 2014年5月23日付朝刊

地域ぐるみの支援誓う

泉小の開校記念祝賀会

旧弥生、野町両小が統合し、4月に創設された泉小の開校記念祝賀会(北國新聞社後援)は22日、金沢工

野町町会連合会の杉岡利正会長は「住民が一つになって、子どもたちをどのように育てていくか考えたい」とあいさつした。山田啓之市教育総務課長、喜多浩一市議が祝辞を述べた。

山下美奈子校長ら職員27人があいさつし、全員で旧弥生、旧野町、泉の3小の校歌を斉唱した。



乾杯する出席者
―市内のホテル